

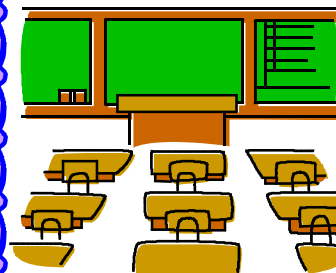
ぐんま教師塾の1年を振り返って

(工業班)

群馬県立前橋工業高等学校 森下直人

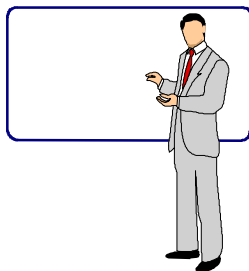
班別研修を終えて

班別研修では、ふだん学校では振り返りすることもなく、パターン化していた自分自身の授業、授業に対しての思い、生徒への配慮を深く考えてみる時間をもつことができました。また、担当の指導主事と、「授業に対する基本的な考え」を協議でき、その考えを教えていただいたことも、これからの自分にとって大変大きな財産となりました。「一人一人が参加する授業」「相手の反応を見ながら行う分かりやすい授業」の2点をこれからの授業で必ず、実践していきたいと感じました。



多彩な講師陣による講義や講話を聞いて

講義や講話を受講してたくさんのためになるお話をお聞きしたことで、今、教員として、社会人として、人生の先輩（生徒に対して）として、自分に足りないものは何かを知ることができました。また、これからの教員生活の中での目標も見つけることもできました。現状に甘んじることなく、危機感をもち、日々研修していかなければならないことを改めて感じることができました。



授業参観協力校等での授業を参観して

授業参観をさせていただいて、ふだん見ることができない小学生の授業風景を見ることができました。生き生きとした児童の顔と、熱心に指導している先生の姿が、印象的でした。授業を通じて、児童の熱心さと、先生の話に純粹に受けとめている姿勢が伝わってきました。授業においては生徒の実態をよく把握し、生徒が学習活動に集中できるように、熱意をもって取り組む必要があると改めて思いました。自分にとって大変貴重な機会になりました。



授業実践を通して

授業実践を通して、授業において分かりやすく理解させるには、教科書・ノートのみで説明するより、映像や実物教材も併いながら説明し、学習プリントを併用することで要点をつかみやすくすることが重要なことと改めて感じました。また、毎回授業を振り返ることにより、教材研究や授業の組み立てが改善されてきました。このことにより、生徒の授業に対する姿勢なども変化したのではと感じています。

